

第3学年5組 社会科学習指導案

指導者 高橋 千重子

1 単元 わたしたちの暮らしと経済

2 目標

- 日常の消費生活から経済活動に対する関心を高め、意欲的に追究し、個人と社会とのかかわりの中から経済活動について考えようとする。 (関心・意欲・態度)
- 社会における企業の役割と責任、社会生活における職業の意義と役割について、個人や企業の経済活動のかかわりを通して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 (思考・判断・表現)
- 個人や企業の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりすることができる。 (資料活用の技能)
- 経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、生産や財政などの仕組みや働きについて理解し、その知識を身に付けることができる。 (知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領〔公民的分野〕内容(2)「国民生活と経済」のA私たちの生活と経済についての学習である。ここでは、経済活動の意義が人間生活の維持・向上にあることを消費生活を中心に理解させるとともに、現実の生産や消費などの経済活動を取り上げて市場経済の基本的な考え方や職業の意義などを理解させることなどを通して、経済についての見方や考え方の基礎を養うことがねらいである。

(2) 生徒の実態

生徒の実態調査(平成23年10月6日実施 3年5組37人)

これまでの授業で、生徒は現代社会と文化を通して現代日本の特色や変容について調べ、法や政治のしくみや在り方を通して民主主義の考え方や意義を学んできた。調べ学習においては、資料から何を読み取ればよいか明確になっている場合、グラフや表から数値や変化の様子を読み取ることはできるが、複数の資料を関連させて考察することができるのは一部の生徒だけであった。また、生徒の記述を分析すると、資料から読み取った事実を個別に羅列する生徒が多く、資料から読み取った事実を多面的・多角的に考察し、根拠を明確にして表現している生徒は一部の生徒だけであった。「経済」という言葉を知っている生徒は20人で「経済」の意味を「お金の動き・流れ」などで説明することができたのは13人であった。現在生徒の中には、「経済」の意味や役割についての知識や概念は育っていない。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、経済活動が我々の社会生活にあらゆる面で密接なかかわりをもっていることを踏まえて、生徒の実態から身近な消費生活を取り上げる。また、経済活動の様々な側面をいろいろな立場に立って、事象間の関連を多面的・多角的に考察できるようにする。さらに、事象間の関連を「関係図」に表して視覚化し、グループによる話し合い活動において考えを比較・吟味することによって、事実を正確にとらえ、様々な考え方があることを理解した上で、公正に判断することができるようにしたい。

(4) 単元計画

時	学 習 活 動	指導上の留意点と評価 (○は評価)
1	<p>1 本時の学習課題を確認する。 家庭の収入と支出は、どこどのようにつながっているだろう。</p> <p>2 家計を中心とした「お金・もの・こと」の動きを関係図として表す。</p> <p>3 関係図から読み取ったこと、考えたことを記述する。</p> <p>4 グループで比較・検討する。</p> <p>5 家計を中心とした「お金・もの・こと」の動きについて考えたことを論述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な消費生活(家計)を中心にして、「お金・もの・こと(サービス)」の動きや流れを関係図に表す方法について説明する。 グループで比較・検討して修正した部分は青で、書き込むよう指示する。 グループで比較・検討して、新たに再構築された考えは赤で書き込むよう指示する。 ○社会的事象の関連を関係図に表そうとしている。(関) ○身近な消費生活における「お金・もの・こと」の動きについて説明している。(思)
2	<p>1 本時の課題を確認する。 ものの価格はどのようにして決まるのだろうか。</p> <p>2 消費者・生産者・小売店の立場から、ものの価格がどうあるべきかを考え、関係図に表す。</p> <p>3 需要と供給の関係について話し合う。</p> <p>4 ものの価格が決まることについて考えたことを論述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物する際に何を基準に品物を選ぶか発表させ、「価格」に着目できるようにする。 ・ものの価格について、立場が変わると考え方がどのように違うのかを考えさせる。 ○ものの価格は様々な社会的事象は関係があることについて説明している。(思) ○ものとお金の交換において、消費者・生産者・小売店の立場で考え、市場経済について理解している。(知)
3	<p>1 本時の課題を確認する。 消費者が「安くて良い品物」を買うにはどのような秘密があるのだろうか。</p> <p>2 流通の仕組みを調べ、それらの特徴を「関係図」に表す。</p> <p>3 流通の違いを比較・検討し、課題について話し合う。</p> <p>4 流通の効率について論述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような買い物の方法があるか発表させ、「流通」の違いに着目できるようにする。 ・流通の違いによって、家計にはどのような影響があるかを考えさせ、関係図にまとめさせる。 ・ものの流れをわかりやすく板書し、全体で共通理解を図る。 ○流通の仕組みやその特徴を関係図に表している。(資) ○流通の効率が「お金・もの・サービス」と関係していることについて理解している。(知)
4	<p>1 本時の課題を確認する。 私たちの生活と企業はどのようなかかわりがあるのだろうか。</p> <p>2 企業の生産の仕組みや社会における役割を調べ、関係図に表す。</p> <p>3 私たちの生活と企業のかかわりについて比較・検討する。</p> <p>4 企業の役割について論述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が知っている企業、身の回りのもののメーカーやCMで見る企業を発表させ、「企業」に対する関心を高める。 ・企業の生産の仕組みと利潤について調べさせ、私たちの生活の関連を関係図にまとめさせる。 ○企業と私たちの生活とのかかわりについて関係図に、意欲的に話し合う。(関) ○企業は市場において生産活動以外に社会的に貢献していることを理解している。(知)
5	<p>1 本時の課題を確認する。 財政は私たちの生活の中でどのような働きがあるのだろうか。</p> <p>2 財政の仕組みや働きを調べ、関係図に表す。</p> <p>3 私たちの生活と財政のかかわりについて比較・検討する。</p> <p>4 財政の働きについて論述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある財や身近なサービスを発表させ、「税・財政」が生活とのかかわりのあることに対する関心を高める。 ・ここで財政は経済の三主体として、家計・企業とのかかわりにしぼって考察させるようにする。 ○財政と私たちの生活とのかかわりについて、関係図に表している。(資) ○財政と私たちの生活とのかかわりから、財政が果たしている役割について理解している。(知)
6	<p>1 本時の課題を確認し、課題について意見を発表し合う。 私たちがよりよく生活するためには、経済活動はどうあるべきだろうか。</p> <p>2 経済を自分なりの視点から考え、関係図に表し、自分の考えを書く。</p> <p>3 同じ課題の友達と集まり、価格・流通・企業・財政がどうあるべきかを説明し合う。</p> <p>4 グループで4つの視点を総合し、関係図を基に、互いの考えを比較・検討する。</p> <p>5 比較・検討したことを基に、自分の考えをワークシートに論述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、経済の全体像を捉えさせる。 ・よりよい生活とは何かについて発表させ、課題をつかませる。 ・経済をどのような視点から考察するか、これまでの学習を振り返るよう助言する。 ・関係図作成の約束を確認する。 ・話し合いの約束を確認する。 ・自分の考えを書くときに、根拠を明確にすることができるよう、関係図を活用するように助言する。 ○経済活動のあるべき姿について、立場を明確にして関係図に表し、説明している。(思) ○経済活動のあるべき姿について、自分の考えを論述している。(思)
7	<p>1 前時の振り返り、本時の課題を確認する。 日本の経済活動で課題となっていることは何だろうか。</p> <p>2 日本の経済活動で課題となっていることを考え、グループで比較・検討する。</p> <p>3 クラス全体で課題について話し合う。</p> <p>4 日本の経済活動について論述する。</p> <p>5 単元の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返ることによって、経済の全体像を捉えさせる。 ・ニュースや新聞等の情報から、経済について気になる情報を発表させ、本時の課題について意識させる。 ・経済に関する新聞記事を配布し、日本経済について関心を高める。 ○今日の日本経済の課題について、意欲的に話し合う。(関) ○今日の日本経済の課題について、自分の考えを論述している。(思)

5 本時の計画

(1) ねらい

身近な消費生活を中心に、経済活動を多面的・多角的に考察し、経済は社会生活の基盤を成し、個と社会がかかわり合って人間の生活の維持・向上されていることについて考える。

- (2) 準備・資料 生徒：前時までのワークシート
 教師：ワークシート（4色）、掲示用カード

(3) 展開

時	学習内容及び活動	指導・評価						
0 5 20 40 45 50	<p>1 前時までの経済活動の復習をし、本時の学習課題をつかむ。</p> <div data-bbox="284 443 817 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 私たちの生活がよりよくなるためには、経済活動はどうあるべきだろう。 </div> <p><経済活動の4つの疑問></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「価格」はどうあるべきか。 ・「流通」はどうあるべきか。 ・「企業」はどうあるべきか。 ・「財政」はどうあるべきか。 <p>2 複数の立場としての考えをワークシートに記入し、関係図を作成する。</p> <p>(1) 前時までの関係図を参考にして、経済活動のあるべき姿について関係図に表す。</p> <div data-bbox="272 853 828 1193" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(流通の例)</p> </div> <p>(2) 「関係図」についての説明を書く。</p> <p>3 グループで互いの考えを比較・検討する。</p> <p>(1) 互いの考えを発表する。</p> <p>(2) キーワードを決めて話し合う。</p> <div data-bbox="292 1361 810 1693" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> 私たちがよりよく生活するためには、 経済活動はどうあるべきだろう。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> バランスのとれた 価格にして、経 済を安定させる。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> むだを省いた流 通によって、経 済全体が活性化 する。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 企業が生産し、 利益を上げて経 済を活性化する。 </td> <td style="padding: 5px;"> 財政を安定させ、 公共物やサービ スを充実させる。 </td> </tr> </table> </div> <p>4 比較・検討したことを通して、自分の考えをワークシートに書く。</p> <p>5 本時のまとめをし、次時の予告をする。</p> <div data-bbox="284 1823 817 1912" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 経済活動は、企業や国、家計にバランス 良くお金が循環して、全体が活発に動くこ とが、私たちの生活をよりよくする。 </div> <p>・現在の日本の経済活動で課題となっていることについて話し合うことを確認する。</p>	私たちがよりよく生活するためには、 経済活動はどうあるべきだろう。		バランスのとれた 価格にして、経 済を安定させる。	むだを省いた流 通によって、経 済全体が活性化 する。	企業が生産し、 利益を上げて経 済を活性化する。	財政を安定させ、 公共物やサービ スを充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を提示し、経済活動の4つの疑問をグループで分担し、これまでの資料を参考にして関係図に表すことを説明する。 ・前時までに作成した生徒の関係図を拡大して掲示し、前時との関連を図る。 ・4つの疑問を意識できるように、ワークシートを4色に色分けする。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時までのワークシートがそろっていない生徒には、あらかじめ友達のコピーを貸し出し、課題に取り組みやすくする。 ・関係図がうまくかけない生徒には、どのような立場があるかを前時の関係図から読み取るよう助言する。 ・前時までの関係図と本時の課題を関連させて考えるように助言する。 ・関係図がまとまってきた生徒には、「経済活動がどうあるべきか」を考えるように声をかける。 <p>㊦ 複数の立場の考えを位置付けて事象間の関連を表し、説明している。(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いの約束を確認し、円滑に進められるようにする。 ・話合いでは、これまでに作成した関係図や資料を根拠として、意見を述べるよう確認する。 ・4つの疑問を総合して考えられるよう、各グループから出たキーワードを板書する。 ・グループ全員の意見を大事にするよう、助言する。 ・互いの考えの比較・検討が進んでいるグループには、経済活動がどうあるべきかを意識して話し合うよう、司会者に声をかける。 <ul style="list-style-type: none"> ・比較・検討したことを基に、根拠を明確にして書くように、論述する約束を掲示する。 <p>㊦ 関係図を基に、課題についての自分の考えを、根拠を明確にして論述している。(思判表)</p>
私たちがよりよく生活するためには、 経済活動はどうあるべきだろう。								
バランスのとれた 価格にして、経 済を安定させる。	むだを省いた流 通によって、経 済全体が活性化 する。							
企業が生産し、 利益を上げて経 済を活性化する。	財政を安定させ、 公共物やサービ スを充実させる。							